

【 畜産環境保全（耕畜連携、堆肥利用促進） 】

1 開催期日 令和8年9月29日（火）～10月1日（木） 3日間

2 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
9月29日 （火）	13:10 ～13:30	開講式
	13:30 ～14:30	畜産環境をめぐる情勢 畜産局 畜産振興課 環境保全班 環境保全係長 成毛 悠太
	14:45 ～16:15	耕畜連携における堆肥利用の経済性と組織対応 農研機構 中日本農業研究センター 大規模水田輪作研究領域 経営評価 チーム兼研究推進部技術適用研究チーム 上級研究員 清水ゆかり
	16:30 ～17:30	肥料の品質の確保等に関する法律の概要について 消費・安全局 農産安全管理課 肥料検査指導班 課長補佐 阿部 進
9月30日 （水）	8:45 ～10:15	家畜ふん堆肥の肥効特性と国内肥料資源としての利用 農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作研究領域 畑生産環境グループ グループ長 荒川 祐介
	10:30 ～12:00	野菜作における堆肥施用のポイント 神奈川県農業技術センター 生産環境部長 竹本 稔
	13:00 ～17:00	総合討論 「耕種農家での堆肥利用をどうすすめるか」 一般財団法人畜産環境整備機構 参与 鈴木 一好 神奈川県農業技術センター 生産環境部長 竹本 稔 畜産局 畜産振興課 環境保全班 課長補佐 田中 良典
10月1日 （木）	8:45 ～10:15	利用者ニーズを意識した堆肥生産・流通のあり方 株式会社レックスホールディングス グループ戦略本部 本部長 三嶋 大介
	10:30 ～12:00	水田作における堆肥施用の基本と現場利用 前 全国農業協同組合連合会岡山県本部 石橋 英二
	13:00 ～14:30	地域における堆肥の循環利用の促進 一般財団法人日本土壌協会 企画部長 三浦 憲蔵
	14:30 ～14:45	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

※講師所属について「農研機構」と記載あるものは「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」の通称です

3 開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人 家畜改良センター 中央畜産研修施設

住 所 〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1

T E L 0 2 4 8 - 2 5 - 7 0 6 0

F A X 0 2 4 8 - 2 5 - 6 7 5 5

4 受講対象者の範囲

国、地方公共団体、畜産関係団体、農協等生産者団体等又は耕種作物関係団体の職員、農業に従事する者

5 受講者数 20名程度

6 受講者の留意事項

(1) 受講者は、宿泊等については研修開始10日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

(2) 研修施設への入所は、研修初日の9時00分～12時00分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

(3) 受講者は、共済組合員証（健康保険証）、筆記用具、寝間着等を持参すること。

(4) 受講生は、総合討論※（9月30日（水）実施）に関して、発言用資料（A4判タテ1枚程度）の作成等事前準備をしておくこと。

具体的には、受講者決定通知時に別途連絡する。

※総合討論について

(目的) 受講者が担当する地域や業務で抱えている課題を解決するための情報収集をねらいとして実施します。

(実施方法) グループ討議方式にて、各受講者が事前提出資料等に基づいて説明を行い、受講者及び助言者と意見交換を行います。

(その他) 各受講生の事前提出資料は、受講者全員に配布します。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班 宮本

TEL 03-6744-0568 (ダイヤルイン)